

図書館へいこう!

話題の新着本

『Seven Stories』 星が流れた夜の車窓から』

豪華寝台列車「ななつ星」を舞台に、井上荒野、恩田陸、川上弘美、桜木紫乃、三浦しをん、さらに旅を愛するふたりのクリエイター、糸井重里、小山薫堂が乗車、極上のストーリーを綴る。



『2020年の恋人たち』 島本理生／著

亡くなった母のワインバーを引き継ぐかどうか、選択を迫られる葵。恋人の港、常連客だった幸村、試飲会で知り合った瀬名…めまぐるしく変化する日常と関係性のなかで、葵が選んだもの。そして選ばなかったものは…。



『誘拐ファミリー』 新堂冬樹／著

誘拐が七十年続いてきた浅井家の家業。固い絆で結ばれる一家六人だったが、跡目を巡って長兄、次兄が反目しあっていた。家長は決着をつけようと、二人にある課題を出す。



『冬の狩人』 大沢在昌／著

3年前の未解決事件に関わる1通のメールが、新宿署の一匹狼を戦場に引き戻す。これは畏かそれとも事件解決の糸口か。6年ぶりの最新作。



『傍聴者』 折原一／著

複数の交際相手を殺害した牧村花音。友人を殺されたジャーナリストの池尻淳之介は、真相を探るべく花音に近づく。事件の全貌が見えた時、いつしか「傍聴者」たちが主役になる。



『聖女か悪女』 真梨幸子／著

カリスマブロガーの月村珠里亜が倒れ、昏睡状態になった。心理カウンセラーの麻乃紀和は、死んだ息子を陥れた珠里亜に復讐を果たすべく、彼女の身边を調べ始める。そんな折、超高級マンションで8体の惨殺死体が発見され…。



今月のBEST本 (11月の貸出回数上位本)



『十二単衣を着た悪魔』 内館牧子／著

日雇い派遣の仕事で「源氏物語展」の設営を終えた伊藤雷は突然「源氏物語」の世界にトリップしてしまった。悪魔のような魅力を持つ弘徽殿女御と息子の一宮のパーソナル陰陽師になり、平安の世に居場所を見つけた雷だったが…。

アメリカで最も権威のある文学賞の一つ 「全米図書賞」 翻訳文学部門受賞 『JR上野駅公園口』

柳美里／著



東京オリンピックの前年、男は出稼ぎのため、上野駅に降り立った。そして男は彷徨い続ける、生者と死者が共存するこの国を…。福島県に生まれた一人の男の生涯を通じて<日本>を描く。

除菌ボックス導入しました

返却いただいた本の消毒・除菌は除菌ボックスを使用し図書館で行っております。より安全に読書が可能となりましたので、安心してご利用ください。



1月のイベント情報

6日から数量限定で、幼児・小学生向け福袋（テーマ別おすすめ本セット）を用意しています。お楽しみに！読み終わりましたら、ご返却をお願いします。

- 1/9(土) 14:00～おはなし会
- 1/16(土) 14:00～おはなし会
- 1/23(土) 14:00～おはなし会

